

● 草の根パートナー型

平成18年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	パラグアイ
2. 事業名	貧困女性のための縫製技術向上プロジェクト
3. 事業の背景と必要性	パラグアイでは、1992年に新憲法で男女平等促進が義務付けられたにも関わらず、社会的弱者としての女性を取り巻く経済・社会・基本的人権の地位、環境は男性に比べ格段に低く、さらに女性の就学率や識字率の低さが、女性の経済・社会的自立の大きな障害になっている。そのため、定職の無い女性たちに縫製技術訓練を実施することにより、経済基盤を強化することが急務である。
4. 事業の目的	貧困層の女性及びその家族、地域社会の生活レベルの向上を目指す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 一定レベル以上の縫製技術の習得</li> <li>● 商品価値に対する認識を得る</li> <li>● 経済的に自立する準備の整備と製造販売の実現。</li> </ul>
5. 対象地域	<ul style="list-style-type: none"> <li>● シウダ・デル・エステ市 人口22万人</li> <li>● ミンガ・グアス市 人口5万人</li> <li>● プレシデンテ・フランコ市 人口6万人</li> </ul>
6. 受益者層	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 上記3市に暮らす貧困層の女性210名</li> <li>● 縫製技術トレーナー10名（リーダー2名を含む）</li> <li>● 研修受講者210名の家族 約1300人</li> <li>● 上記3市の協力者、市民</li> </ul>
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 現地縫製技術トレーナーの技術、指導レベル向上のための事前研修を実施する。 その際、日本から縫製の専門家を派遣し、日本の縫製技術習得のための集中研修を併せて行う。 【成果】 高度の縫製技術を習得した指導者が育成される。</li> <li>2. 縫製技術トレーニングの実施（6ヶ月間） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 衣料品の製作に必要な縫製の基本的な技術を身につける</li> <li>2) ミシンの使い方を習得する</li> <li>3) 伝統技術の習得と技術向上 【成果】 研修受講者の縫製技術、伝統工芸技術全般のレベルが向上する。</li> </ol> </li> <li>3. 経営トレーニングの実施（2ヶ月間） 製品の良し悪しを見分ける力を身につける。さらに、生産管理の知識を身につけ、コミュニケーション能力の向上をめざす。 【成果】 研修受講者の縫製技術、伝統工芸技術全般のレベルが向上する。製品価値を見極める能力が向上する。</li> <li>4. 研修受講者による製品製造と販売ルートの確保 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 研修対象地域における製品販売ルートの確保：公設の市場など</li> <li>2) 製品発表展示会を開催する</li> <li>3) 国内外からの受注をうけ、製造できる体制を整える 【成果】 製品販売ルートが確保され、製品が販売されるようになる。</li> </ol> </li> </ol>
8. 実施期間	2007年9月～2010年2月（2年6ヶ月）
9. 事業費概算額	23,706千円（予定）
10. 事業の実施体制	<p>【日本側（日本側支援体制、広報等）】            フォンダシオンマーノ・ア・マーノ：            プロジェクトの統括に常勤者を配置し、プロジェクト進捗管理を行う。当団体の副理事長がプロジェクトリーダーとして、定期的に現地へ出張し、進捗管理を行うと同時に販売ルートの開拓、関係機関との連絡調整を行う。            広報活動として当団体ホームページに進捗状況を随時掲載する。</p> <p>【相手国側（相手国実施機関の概要等）】            日本ラテンアメリカ文化交流協会パラグアイ：            現地実施機関として本プロジェクトの管理、運営を担い、プロジェクトリーダーとともに、現地関係機関との発展的な情報交換、連絡、調整を行う。なお、本プロジェクト終了後も持続的にプログラムを推進することができるように、調査、開拓をする。</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名	特定非営利活動法人 フォンダシオン マーノ・ア・マーノ
2. 活動内容	ラテンアメリカ地域（特にパラグアイ、アルゼンチン）における支援、交流活動 <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 教育支援：ヨコハマ・スクールの運営（パラグアイ シウダ・デル・エステ市）</li> <li>2. 保健・医療支援：パラグアイ インディオ居留地への医師の派遣</li> <li>3. 文化、スポーツ交流：サッカー交流、伝統文化紹介等</li> <li>4. 女性の自立支援：識字率の向上と技術習得プログラムの実施</li> </ol>